

乗務員の生活基盤を奪い、地方を切り捨てる

紀伊長島駅乗務員配置解消反対！

津駅前でビラ配布を実施



3月16日、三重県津駅前にて「紀伊長島駅乗務員配置廃止」反対のビラを配布し、私たちの考えを訴えてきました。

3月17日ダイヤ改正に伴い、紀伊長島駅乗務員配置が廃止されてしまいましたが、多くの問題を残しました。

私たち東海労名古屋地本はこれまで、安全問題を含め、組合員の生活設計など会社に申し入れを行ってきました。

これまで会社は私たちの申し入れに不誠実な回答を繰り返してきました。

会社の不誠実な対応を許さずこれからもたたかう

津駅前では紀勢線利用の乗客からはビラを手にとって、「安全は大丈夫?」「紀勢線はよく雨で止まるから心配」「JRはリニアに金を使うため地元を切り捨てるのか」など立ち止まって話す利用者も多くいました。

鉄道輸送にとって最も優先すべきは安全だ

100キロを越す通勤距離や、伊勢運輸区の労働強化など安全を脅かす要素はかぞえきれません。乗務員配置は廃止されてしまいましたが、地元利用客の声や、鉄道の安全確保、何よりも組合員の生活を守るため今後も闘い続けます。

安全を経費節減のため切り捨てそして

組合員の生活基盤を破壊する会社を許さない！